



# 標準施工要領

(WEAR RESISTANT HARD LINING - SMALL PARTICLE EPOXY PUTTY)

## KANパテ すべり止めコート

関西パテ化工(株)の“すべり止めコート”は、アルミナセラミック、シリカ充填材を高配合した高性能・高耐久性の滑り止め材です。

以下に標準施工要領を記しますので、参考にして下さい。



関西パテ化工株式会社

作業の工程は4つです。

1. 下地処理
2. マスキング処理
3. 本剤(すべり止めコート)計量・攪拌
4. 本剤(すべり止めコート)塗布
5. 硬化養生

すべり止めコートの標準的な使い方:

### 1. 下地処理

#### 1-1) 塗布する表面の埃、錆、旧塗料等の除去

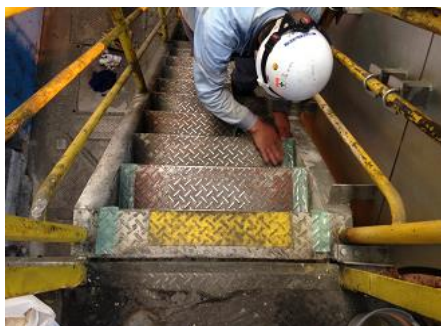
表面に付着している汚れや劣化したコンクリート、塗装、錆等のスケールを除去します。  
錆や劣化した塗装等があれば、ワイヤーブラシ等でケレンをします。

#### 1-2) アセトンを染み込ませたウエスで拭きます。(脱脂処理)

**アドバイス! :** 下地の表面は、ツルツルよりもガサガサに荒れている方が、より強力に接着します。

### 2. マスキング処理

#### 2-1) 養生テープやマスカー等でマスキングを行います。



**アドバイス! :** マスキングは、本剤の施工が終われば直ぐに剥がします!

### 3. 本剤(すべり止めコート)計量・攪拌

#### 3-1) 主剤(各色)と硬化剤(アメ色)を見た目で9:1の割合で混合します。

1セット全量使用する際は、主剤容器に硬化剤を全量移し替えて下さい。



- 3-2) 1セット(5kg)を混合する際は、1000W以上のパワーの電気ドリルと攪拌羽根(塗料用)を推奨します(攪拌の目安は2~3分です)。  
手で攪拌する場合は、攪拌棒にて入念に攪拌してください。



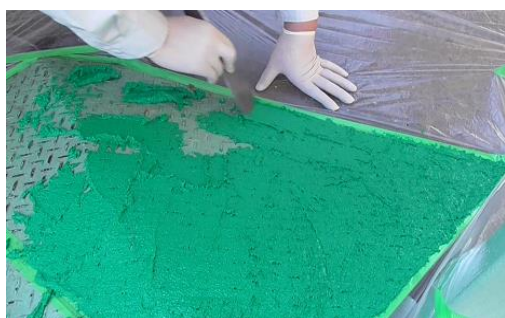
**アドバイス!!** 容器の“壁面”、“底部”は主剤と硬化剤の混合が不十分になる恐れがあります。  
攪拌羽根やヘラで、壁面や底部を入念に混合して下さい。

**アドバイス!!** 配合比率を厳守すれば、秤取って小分けして使用できます。

#### 4. 本剤(すべり止めコート)塗布

##### 4-1) 塗布

ゴムベラや金ヘラで、すべり止めコートを1mm程度の厚みで塗布します。



##### 4-2) ローラー掛け

金ヘラや金コテでの仕上げでも滑り止め効果は発揮しますが、更に滑り止め性能を向上させるには専用ローラー(短毛ローラーや紙管ローラー)での仕上げ処理が必要です。



**アドバイス!!** 短毛ローラーは標準的な凸凹で、紙管ローラーはより高い凹凸に仕上がります。縞鋼板に塗る際は短毛ローラーをご使用下さい。

**アドバイス!!** ゴムヘラや金ヘラで薄く塗布すると、穏やかな凹凸に仕上がりますが、グリップ力は低減します。

## 5. 硬化養生

## 5-1) マスキングの除去

塗布作業を終えたら、すべり止めコートが硬化する前にマスキングを除去します。

**アドバイス!!**：階段へ塗布する際は、「すべり止めコートを塗って、マスキングを外す～」を繰り返しながら上段から下段へ降りていって下さい。

## 5-2) 硬化養生

気温15℃～35℃のとき、24時間～12時間で硬化します。

重車両等が往来する際は、同温度域の場合は、3倍くらいの養生時間を取って下さい。

**アドバイス!!**：冬期の作業はお勧めしませんが、施工をする際は冬用硬化剤をご使用下さい。  
(お気軽にメーカーへお問い合わせ下さいませよう、お願い致します)

以上

**注意事項:**

1. 塗布面の汚れ、錆び、油分等は除去して下さい。接着不良の原因となります。
2. ケレンは、下地の健全な表面が露出することが理想ですが、現場の状況に応じて“取れるモノは、除去して下さい”。
3. 樹脂が手肌に付かないように、手袋等の防護をして下さい。
4. 残った樹脂は、密閉して冷暗所へ保管して下さい。
5. 主剤と硬化剤の計量は、できるだけ正確に行ってください。
6. 主剤と硬化剤の混合は、十分に行ってください。
7. 湿気の多い時期や冬期の施工で、金属面に塗布する際は“結露”に注意して、結露している恐れのある場合は施工しないで下さい。→剥がれの原因になります。  
結露の確認方法：粘着性の強いガムテープを塗布する金属面に抑え込んで貼り付けから、ゆっくりと剥がします。メリメリという感じで剥がれたら“結露はありません”、簡単に剥がれたら結露している疑い有り。
8. 濡れた面、油が付着した面は、乾燥及び清掃をして下さい。  
→接着力が低減し、剥離する恐れがあります。
9. タイル面の施工はお勧めできません。→半年～1年後に剥がれる恐れがあります。
10. カラークリート、ケミクリート、防塵コート等の特殊なコンクリート面は、事前に相談下さい。
11. FRPの表面へ施工する場合は、塗布面を#40サンドペーパーでケレンして、表面に粗い凹凸をつけて下さい。→剥離防止措置
12. ラッター(垂直梯子)には施工できません。→塗布し難く、剥がれ易い。
13. アスファルトは、打設間もない場合(雨天時に、アスファルト表面に油分が浮きでる状態が確認できる期間まで)は“テスト塗り”をお勧めします。→接着不良の恐れがある。
14. 御影石の階段等への施工は、事前に問い合わせして下さい。  
→硝子成分の多い床面は剥がれ易い傾向があります。
15. その他、ご不明な点は関西パテ化工(株)へお問い合わせ下さい。

